

CAGLIERO

カリエロ11 サレジオ会
宣教ニュース

N.106 - 2017年10月



サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

10

月、特別に宣教を思い起す月です！ 全教会は揺り動かされ、目覚め、深く宣教に根ざしていることを再び認識します。教皇フランシスコは2017年 世界宣教の日のメッセージを通して、私たちがすでに共に歩んでいる、若者に目を向けるシノドスの道についても私たちに思い起こさせています。「若者は宣教の希望です。イエス・キリストのペルソナと、イエスが告げ知らせる福音は、多くの若者の心を魅了し続けています。」(2017年「世界宣教の日」教皇メッセージ, 8) 私たちはつい先ごろヴァルドッコで、この魅了された心を、世界中からの若いサレジオ会員、新たに遣わされた第148回宣教派遣メンバー、一人ひとりの顔に見ました。私たちは世界中の多くの管区でも、これを感動のうちに見てきました。サレジオ・ボランティア運動を通して、人生の大切な時を惜しみなく神と世の人々にさ

さげる、実に多くの若者の勇気と熱意を私たちは目にしています。私たちが共に担う宣教の責任は「若者の豊かな想像力と創造性」(同)を必要とすると教皇フランシスコは結んでいます。私たちの支部や管区で宣教の精神を新たにしているのは、実に若者たちなのです。若者たちによって、私たちが目覚めていられますように！

J. Basanes

宣教顧問

ギジェルモ・バサネス神父



の力によって御父と完全に交わるいのちを受けます。そのいのちには愛における創造の源であり、あらゆる種類の利己主義からわたしたちを解放します。[...]

したがって、教会の使命とは宗教的イデオロギーを普及させることでも、高尚な倫理的教養を提示することでもありません。世界中で多くの運動が、気高い理想や際立った倫理的表現を提案しています。イエス・キリストは、教会の宣教を通して福音を伝え、働き続けておられます。したがって教会の使命は、救いが訪れるべき「とき(kairos)」を歴史の中で示すことです。イエスは福音を告げ知らせることを通して、絶えず新たにわたしたちと同時代の人となられます。それは、信仰と愛をもってイエスを受け入れる人々が、復活したイエスの霊がもつ変容させる力を体験できるようにするためです。雨が地を潤すように、イエスは人類と被造物を豊かにしておられるのです。[...]

幸いにも、福音がもつ変容させる力をあかす意義深い体験がつきることはありません。わたしは、ディンカ族のある学生のことを思い起こします。彼は敵対するヌエル族の学生が殺されそうになっているのを見て、その人をいのちがけで守りました。[...]かたくなな心や争い、人種差別、部族主義を乗り越えるために、そしてとりわけ和解と兄弟愛、分かち合いをあらゆる場で促すために、福音がどんなに役立っているかを表す無数の証言も、わたしたちは思い起こすことができます。[...]

若者は宣教の希望です。イエス・キリストのペルソナと、イエスが告げ知らせる福音は、多くの若者の心を魅了し続けています。若者は勇気と熱意をもって人々のために尽くすを探し求めています。「現在、共同体的なかかわりやきずなが危機に陥っている中で、世の中の悪を前にして連帯し、様々の活動や奉仕に着手する、多くの若者がいるのです。……若者が『街をめぐる伝道者』であることは、すばらしいことです。あらゆる街角、あらゆる広場、地上の隅々にイエスをもたらすことを幸せに思います」(福音の喜び106)。

キリスト教信仰の核心に宣教あり

10月の宣教の月にあたり、教皇のメッセージをより深く考察することを勧めます。紙面の都合でその一部だけ紹介します：

「この日は、**キリスト教信仰の核心にある宣教**について改めて考えるようわたしたちを招いています。教会はまさにその本性上、宣教的です。さもなくば教会は、もはやキリストの教会ではなく、目的を果たしたらすぐに消えてしまう多くの集まりの一つになってしまいます。したがって、さまざまな幻想のために混乱し、深い失意のために傷つき、とりわけ無実の人に不当な被害を及ぼす多くの兄弟同士の争いによって引き裂かれた世界の中で、キリスト者としてのわたしたちのアイデンティティーと責任について、いくつかの問いを自らに問うことが重要です。宣教の根本には何があるのでしょうか。何が宣教の核心なのでしょう。宣教にとって欠かせない行いとはどのようなものなのでしょうか。[...]

教会の宣教は、すべての善意の人に向けられており、福音がもつ変容させる力に根ざしています。福音は新しいいのちを含み、与えているので、広がりゆく喜びに包まれています。その新しいいのちには、復活したイエスのいのちです。いのちをもたらす自らの霊を伝えることにより、イエスはわたしたちの道、真理、いのちとなられます(ヨハネ14・6参照)。イエスは信念と勇気をもってご自身に従うようわたしたちを招く道です。わたしたちは、自分たちの道であるイエスに従う中で**真理**を体験し、イエスの**いのち**、すなわち**聖霊**

トマス・ウンズナリル神父から使徒的靈性を学ぶ



最

近私たちはローマで、宣教師の兄弟トマス・ウンズナリル神父の解放を大きな喜びのうちに祝いました。トマス神父は2016年3月4日、イエメンで拉致され、今年9月に解放されました。ご存知のようにトマス神父は教皇と、また総長と、感動的な対面を果たしました。

消耗し、体重も30キロ落ちていましたが、トマス神父は大変おだやかな落ち着いた様子で自分の体験を語りました。ローマで生涯養成コースを受講している宣教師たちもトマス神父に会いました。トマス神父の使徒的靈性について、いくつかの点をここに分かち合いたいと思います。

- ローマに到着したトマス神父が最初に求めたのは**ゆるしの秘跡**でした。18か月間、この賜物を受けられなかったことはトマス神父にとって大きな重荷になっていました。
- 秘跡として**聖体祭儀**をささげることはできませんでしたが、記憶に頼ってミサの祈りを毎日唱えていました。実際、トマス神父は、その十字架をたゆみない聖体祭儀としていました。
- 読むこと、書くこと、歩くことなどは許されませんでした。考えることしかできませんでした……トマス神父の思いは、**絶えず祈ること**でした。教会のため、サレジオ会のため、若者、殺されたシスターたち、イエメンでのミッション、教皇のため、そして自分を捕えている人々のための祈りでした……トマス神父はパウロの勧めを思い起させます。「**絶えず祈りなさい**」。
- 監禁生活を落ち着いた心で生きることができた秘訣は、**全面的な神のみ**

旨への恭順でした。神のみ手に自分の命をゆだね、み旨だけを行うと決めてから、大いなる平安を覚えたと言います。そのため夜はとても穏やかに眠ることができました。そして神のみ旨へのこの恭順はトマス神父一人の奉獻ではありませんでした。イエメンで働くようにと求めた会への従順の結果でもありました。トマス神父によると、神のみ旨への応答ととらえらるとき、従順は落ち着きと平安の源泉になります。

- **キリストのあかし人**。イスラム過激派の指揮官のもとへ連れて行かれたトマス神父は、じかにはっきりと、イスラム教徒かとただされ、「私はキリスト者です」と答えました。

- 個人的な会話の中でも、講話でも、トマス神父は深い**ゆるしの姿勢**を表しています。確かにシスターたちの殺害はトマス神父に深い痛みを与えていますが、憎しみや恨みを心に留めていません。犯人に対しても彼らを尊重する話し方です。

- 神の計画において、**一人ひとりに固有の使命がある**という確信。すべての人は類ない、かけがえのない使命に呼ばれています。

- トマス神父の言葉には絶えず感謝の思いがあります。命を、囚われからの解放を神に感謝し、いつも近くにおられると感じるキリスト者の扶け聖マリア、教会、サレジオ会、解放のために祈りと犠牲をささげてくれたすべての信徒への**感謝の思い**です。世界中で、日々、トマス神父のために祈りと犠牲をささげたごくふつうの信徒たちの、実に多くのあかしがあります。

豊かな収穫のために働き手を送りつづけてくださるよう、主に願い求めましょう。

マルタン・ラサル神父, sdb

サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエルルイジ・カメローニ神父



福者マリア・トロンカッティ(1883・1969)は、サレジアン・シスターズ会員、アマゾンの熱帯雨林、エクアドルのシュアール族に遣わされた偉大な宣教師。女性の尊厳の促進と生涯の伴侶の選択の自由のために粘り強く働いた。熱帯雨林で初めてのキリスト者の結婚が祝われることが発表されたときは、シスター・マリアにとって大きな喜びだった。新郎新婦ともにシュアール族で、親族によって決められることなく、自由意志で互いを選んだ初めての結婚だった。そのころ、シスターは手紙に書いている。「私たちはここに、皆のためにいます：大きい人、小さい人、病気の人のため、未開の生活を送る人々、文明生活を送る人々のために。」



サレジオ会の宣教の意向

職業訓練の教育機関で働くサレジオ会員のために

職業訓練の教育機関がこれからも、向上の学び舎、職業の世界におけるキリスト教的ヒューマニズムの学び舎でありつづけますように

サレジオ会が世界中で知られ評価されている最も特徴的な貢献の一つは、職業訓練です。職業の世界に入るために若者を教育し、備えさせる職業訓練は、今も青少年司牧の優先事項です。この尊いミッションのため、私たちは、職業の世界の新たな挑戦に応える専門的力量、教育の知恵、福音宣教の大胆さを求められています。

